

# CONTENTS COMBAT

2014.Aug.  
No.461

# 8

Cover Design  
favorite graphics(tamao ito),  
Cover Photo  
Kunihisa Kobayashi  
Cover Model  
PASSPO☆/Palet  
©WORLD PHOTO PRESS 2014

※本文中の価格は消費税込みの  
総額表示です。



- [第1特集／トイガン]**
- 018 東京マルイ  
GAS SHOTGUN  
M870 Breacher**  
●Photos&Text by Taku
- 024 東京マルイ  
電動ハンドガン ハンドガンタイプ  
H&K USP & GLOCK18C  
シルバースライド**  
●Photos&Text by Taku
- 026 WESTERN ARMS  
M4A1 FULL METAL CUSTOM  
KNIGHT SR16**  
Photos & Text by SHOTGUN MARCY
- 032 WESTERN ARMS  
10-8 PERFORMANCE OPERATOR**  
●Photos & Text by SHOTGUN MARCY
- 056 サバゲ特別企画  
彼女がBDUに着替えたら。  
PASSPO☆ VS Palet**  
●Photos by Kunihisa Kobayashi
- [第2特集／ミリタリー]**
- 008 The Equipments of the U.S. Force  
[現用米軍装備カタログ] 第119回  
of the U.S. Force  
实物SEALS画像で装備を組んでみよう! 第3弾**  
●解説:松原隆 ●撮影:山崎 学
- 038 New Generation Styler  
HEART ROCK 2.0 2014**  
●Fujiwara

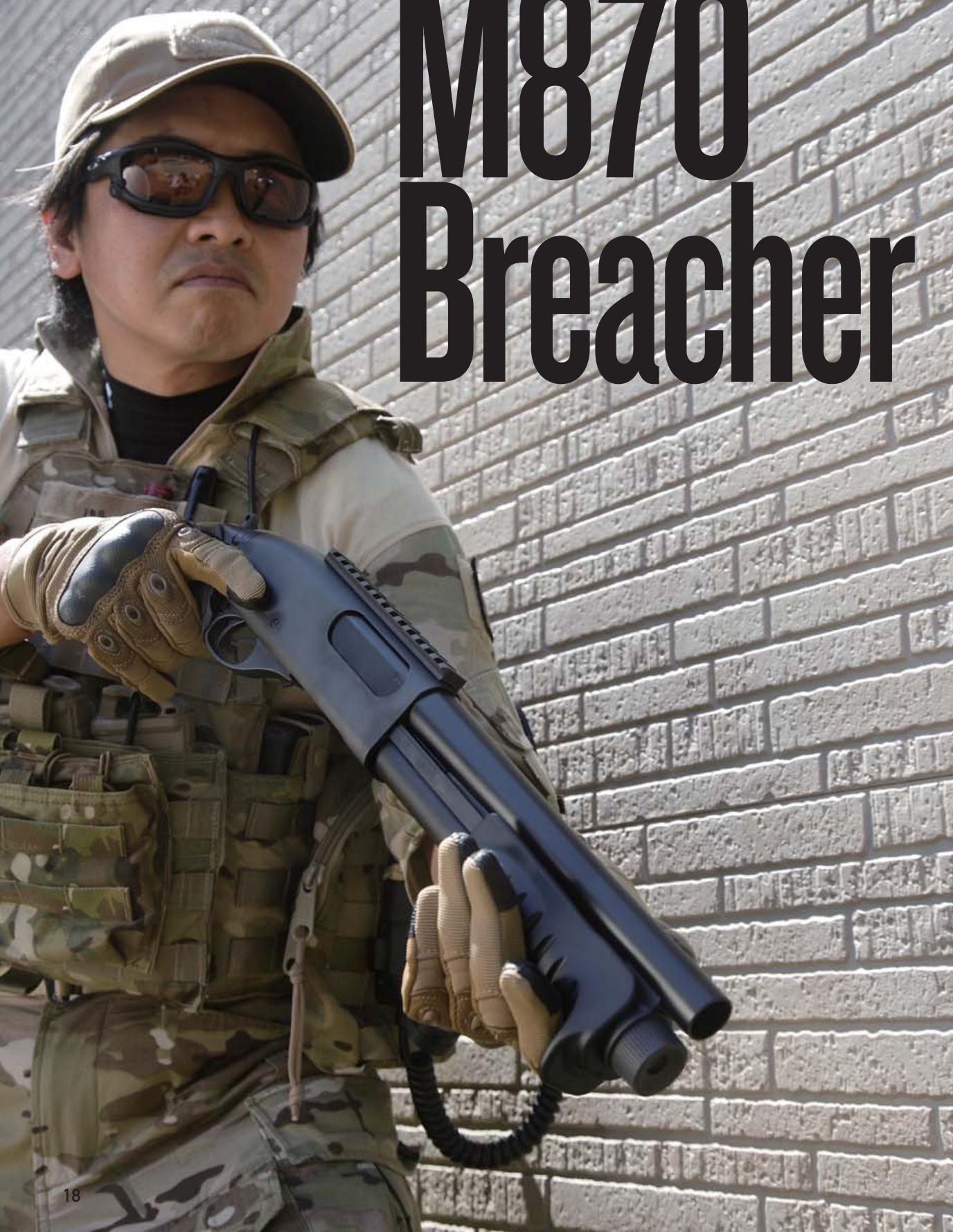
## 085 Militaria Roundup! 復刻版 アメリカ陸軍軍装／ノルマンディ1944 Part.1

●解説:菊月俊之

### [第3特集／実銃]

- 134 上矢ゆいが教えてア・ゲル♪  
はじめての実弾射撃ガイド2014★夏in GUAM**
- 004 COMBAT FRONT LINE**
- 048 Goods & Accessory**
- 054 GEAR CUSTOM WORKSHOP  
PROJECT NINJA**  
●Tokyo Equipment Stupid
- 066 月刊 自衛隊「ニッポンのちからこぶ」**  
●取材:菊池雅之
- 070 兵装嗜癖**  
●by Fujiwara
- 072 世界の兵士図鑑  
変化するヨーロッパ諸国の特殊部隊装備**  
●イラスト・解説:坂本 明
- 076 The Command From POLAND Vol.4**  
●author : Pig-marble
- 084 サープラスいじり技術研究所**  
●写真・文:織本知之
- 096 PRESENT**
- 130 トイガンニュース**
- 130 WA コルトM1991(Ver.ローニン) &  
ベレッタM92FS(Ver.ローニン)
- 132 タナカ U.S.M.C. M40 AIR  
(エアーコッキングガン)
- 133 タナカ S&W M49 ボディガード2インチ  
(1966年アーリー・モデルHW)
- 142 monoショップ新聞**
- 184 中田商店グッズ**
- 186 S&Grafグッズ**
- 097 GAME OVER THE TOP**  
ふれんどりっファイヤー!
- 100 ミリタリー雑学講座
- 108 蛙のゆびさき(中山 蛙)
- 112 アメリカGUN事情 Guns Talk from US
- 116 戦車兵通信 WORLD OF TANKS
- 118 物欲ワンホール
- 120 ROUND 34:強い銃の条件“命中精度”
- 124 トイガンズジャンクション
- 161 バックナンバーリスト
- 162 帰ってきた 狩野健一郎の[監督、そこにおっぱいは必要ですか!?]
- 164 レア・ミリタリー・テクノロジー
- 166 ギアログ vol.2(告知)
- 168 ショットショー・ジャパン〔春編〕2014
- 169 A STITCH IN TIME
- 170 狩野健一郎のシネマ放浪記
- 171 狩野健一郎の新作DVD紹介
- 172 陸自イベントカレンダー
- 174 コンバットマガジン・インフォメーション・センター
- 175 読者プレゼント応募方法
- 176 編集後記





# M870 Breacher



コンパクトで取り回しやすいソウドオフ・ショットガンは、インドアからアウトドアまで幅広い使い方が可能。トータルバランスに優れたガンといって過言ではない。

M870ブリーチャー

全長: 515mm  
重量: 2,200g  
装弾数: 30発  
価格: 3万5424円

## CQBやCQCにオススメの ソウドオフ・ショットガン!!

CQBやCQCのような閉所での戦闘において最高のパフォーマンスを発揮できるガンは何なのだろうか？結論からいえば、使う人間のウデ次第である。

「弘法筆を選ばず」

という言葉があるように、優れたテクニックを持っていれば、どんなガンを使ったとしても少なくこなせる。要するに上手い人は何を使っても上手いのだ。とはいえ、さすがにマシンガンやボルトライフルを使って戦えというのには、少々ムリがある。

では、ある程度条件を絞って考えた場合はどうだろうか？ 例えば、テクニックは普通、選べるのは「アサルトライフル」「サブマシンガン」「ソウドオフ・ショットガン」「ハンドガン」という条件で考えてみる。

どのガンにもそれぞれにメリットとデメリットがあるが、普通に考えればサブマシンガンあたりが無難だろ

うか。コンパクトで取り回しやすく、連射性にも優れているものの、ファイアーパワーではアサルトライフルには及ばない。

連射性とパワーの点で優れているアサルトライフルだが、取り回しにくく、使いこなすにはある程度のテクニックが求められる。

4種類の中で、バッグルの機動性を持つハンドガンだが、連射性とファイヤーパワーの点で少々キビシイ。

ではソウドオフ・ショットガンはどうなのだろう。連射性においてはハンドガンと同程度、前後を切り詰めているので、機動性も悪くない。ファイアーパワーに関しては、使用する弾を変更することで幅広く対応。要するに、マルチバーバスであるのがソウドオフ・ショットガンの持ち味なのだ。

実続の世界ではオールラウンダー的なポジションのソウドオフ・ショットガンだが、トイガン、中でもインドア

ゲームの分野ではどうだろうか。実のところブリーチング、つまりスラグ弾でドアの蝶番を撃ってドアを破壊するような特殊な使い方を除けば、それほど大きな違いはない。その優れた機動性を活かし、フィールド内を縦横無尽に動き回るということ也可能なのだ。

東京マルイのガスショットガン・シリーズは、切り替えスイッチによって発射弾数を3発と6発の2種類選択が可能。ショットシェル型のマガジンには30発のBB弾が装填可能。1マガジンで5~10ショット撃つことが可能となっている。

ガス方式なのでポンプアクションもエアコッキングにくらべて驚くほど軽くスムーズ。ラピッドファイア機能も装備しているので、トリガーを引いたままの状態でフォアエンドを前後にスライドさせれば連射も可能だ。

タクティカルモデルでは、ストックに收められていたガスタンクだが、今

# M4A1 FULL METAL CUSTOM KNIGHT SR16



## M4A1フルメタル・カスタムに、プレミアムなニューシリーズ登場!!

ウエスタン アームズ（以下：WA）のメガ・ヒット・シリーズ、“M4A1フルメタル・カスタム”が、新たなステージに突入。重く鋭いリコイルキックはそのままに、金属感いっぱいの魅力的なバリエーションが企画された。その第一弾は、RIS（レール・インターフェイス・システム）やRASなど、多彩なアタッチメントに対応するレイル・ハンドガードの元祖、ナイツアーマメントが製作したミリタリー・モデル“SR16”だ。

1982年にM16A2が米軍制式ライフルの後継機に制定されると、そのカービンタイプが模索され始めた。1990年代半ばに登場したM4、M4A1がその完成形。当時、M16A2にスポーツライフルからフィールドバックされた、キャリングハンドル着脱式のフラット・トップ・レシーバーが採用され、M4系もその流れに従った。光学系のサイトシステムやアクセサリーを使用する場合、どうしても視点が高くなる。これはM16が登場して以来のウィークポイント



高品質なアルミボディに、ナイツアーマメントの正確な刻印。アッパー・レシーバーにも、モデル名が記されている。

トで、特に、やはり当時発展し始めた各種のポイントサイトを利用するにあたって、大きなネックになっていた。視点を低く保つことができるフラット・トップの登場とその採用は、M16系アサルトライフルの適応範囲を大きく広げた。

フラット・トップが採用され、カービンタイプが完成したM16系アサルト

ナイツ・タイプをモデルアップしたWAの“SR16”。これまでのフルメタル・カスタム同様、光学系ポイント・サイトなど、豪華な付属品をセットしたスペシャル・パッケージで登場だ。

ライフルに、さらに大きな発展をもたらしたのが、アクセサリーレールを備えたハンドガード、RISの登場。1機種のライフルを、周辺アクセサリーとの組み合わせで多様に変化させる米軍のモジュラー・ウェポン・システム、SOPMOD構想は、ナイツ社が完成させたRIS（RAS）によって実現された。RIS（RAS）は、当初既存のバレル・

特別企画  
彼女がBDUに着替えたら。





# 上矢ゆいが教えてア・グル♪ はじめての 実弾射撃ガイド 2014夏 in Guam

●Photos & Text by Yui Kamiya ●取材協力:グアム野外射撃場G.O.S.R.(グアムアウトドアシューティングレンジ) <http://www.gosrjapan.com/>

※危険な行為の写真がありますが、現地インストラクター立ち会いのもと、許可を取り特別に撮影したものです。

## 注意

当記事は「グアム野外射撃場G.O.S.R.」での利用例を解説しています。国や州、射撃場ごとにルールが異なりますので、必ず現地インストラクターの指示に従って体験してください。

移動中にぶつけたり、重いマガジンや実弾、銃そのものを落とす可能性もゼロではありませんので、足元の安全確保も大切です。私は必ずミリタリーブーツを着用するようにしています。



実弾射撃は基本的に野外活動です。運動が楽で汚れてもいい服装がオススメです。また国や地域によっては迷彩柄やミリタリーコスプレが要らぬ誤解やトラブルを招く原因になります。初めて行く場所では自肅する判断も大切です。



万が一の跳弾や破片、銃から飛び散るオイルや火薬カスから眼を護るシューティンググラスは必須です。眼鏡でもよいですが、レンズ大きめでカバー範囲が広くないと意味ないです。イヤマフや耳栓も忘れないでください。ミリタリーコスプレをしたい! という方も、必ず射撃場で着替えるようにしましょう。おすすめの持ち物は、

## グアムに何を持っていけばいいの?

●イヤーマフ、もしくは耳栓  
これらは射撃場にもレンタルがありますが、長時間装用し続けても痛くならないものがおすすめです。他には、

●つばのある帽子(日射病と薬莢火傷の予防)

●動きやすい靴(ゴム草履やサンダルは危険です)

●カメラは防塵&防水(海での撮影や、突然のスコールにも安心)

●虫除けスプレーと虫さされ薬(現地で売っているものは成分が強いです)

●サングラス、日焼け止め(グアムの強烈な日差しをあなどるべからず!)

等がありますね。ホルスターや手袋は最初の射撃では持参してくなくていいと思います。

●使い慣れたシューティンググラス

トイガン好きの方ならきっといちどは憧れる実弾射撃。海外へ行けば気軽に体験できる。でも一步間違えれば命に関わる危険を伴うレジャーでもあります。最初はちょっと怖いけれど、実銃を握った時のドキドキ感、的に当てられた時の充実感! 魅力いっぱいの射撃を安全に楽しむための基礎知識を、女流シューター=上矢ゆいがご案内します♪

### 上矢ゆいProfile

ごく普通のサバイバルゲーマーからエアソフトガンシューターに転向したのが2006年。その後で海外の実銃マッチ参加や、スカウトを受けエアライフルの日本代表選手として活動。気がつけば射撃どっぷりな毎日を送ることに(笑)。現在はG.O.S.R.と、今年7月に開催される新マッチ「JWCS」のイメージキャラクターを務めています。

